

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	友好都市交流推進事業		
事業担当	市民部 文化・交流課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'03	③〈交流〉 ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる	
	'02	2 地域の文化をお互いに理解し、活発な交流を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民・企業	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他】【協働：市民・企業】		
目的・目標		事業の概要	
高山市、花巻市、伊豆市と平塚市の市民や企業との交流が活発に行われています。		文化やスポーツ、産業を発展させるため、友好都市などと幅広い交流を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	交流事業実施回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	15	13	15	13		
	実績	15	13	15			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	交流事業参加者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	340	320	340	320		
	実績	354	228	331			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成23年度の主な取組と成果							
友好都市及び市民休養の郷と市民交流、市民ツアー交流、スポーツ交流、小学生交流等の事業を行い、市民主体の都市交流を図りました。							
平成23年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	産業、文化、スポーツなどを通じて交流することは、相互の産業発展や文化の醸成につながり、必要性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	都市間交流を継続することは、豊かな人間性をはぐむうえで有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	実施事業によっては、受益者負担の見直しも検討する必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	既存事業について、より効率的な交流内容や経費の見直しを検討する必要があるとともに、市民に参加してもらえる新規事業を企画する必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 より多くの市民に参加してもらえるための既存事業の見直し、民間交流の拡大及び新規事業の検討並びに市民休養の郷から友好都市への変更への機会を検討していく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		市民ツアー、キャンプ、物産展などの開催	市民ツアー、キャンプ、物産展等の開催	市民ツアー、キャンプ、物産展等の開催	市民ツアー、野外体験、観光物産展等の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	2,893	1,858	2,053	2,333
事業費 (A)		2,893	1,858	2,053	2,333
執行率 (%)		89.18	76.56	85.79	
内訳	職員 (人)	0.85	0.85	0.85	1.15
	再任用 (人)	0.25	0.25	0.25	0.10
人件費 (B)		7,966	7,873	7,729	9,558
フルコスト (A+B)		10,859	9,731	9,782	11,891

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針 事業の内容を精査し、効果測定を行い、より効果的で現況ニーズあった経費配分及び受益者負担の見直しを行います。また、市民休養の郷から友好都市への変更に関する検討を進めます。
課長コメント 市民に魅力ある事業を効率的に展開し、交流事業等に多くの方が参加してもらえるように努めていきます。